

学びの主体者は子ども

広める 深める つなげる

変化の激しい時代を生き抜くために子どもにどんな力を育みますか そのために園・学校ができることは何でしょう

保育所・幼稚園・こども園

小学校・義務教育学校・中学校

高等学校・高等教育機関等・大学

架け橋期
アプローチカリキュラム
スタートカリキュラム

9年間を見通した教育

義務教育で身に付けた力をさらに伸ばす

学び続けようとする

遊びこみ
(遊びは学び)



学びこみ



「深い学び」
の視点

知識・技能を関連付ける
見方・考え方を働かせ、知識・技能を活用する
考えを形成する
思考して問い続ける
学ぶ意義・おもしろさを実感する

主体的に
学び考える力

多様な人と
つながる力

新たな価値を
生み出す力



めまぐるしく変化していく社会において、
変化を前向きにとらえて主体的に行動し、
よりよい社会と幸福な人生を創り出せる人
(京都府教育振興プラン)

認知能力・非認知能力を一体的に育む

幼児期の終わりまでに育ってほしい
10の姿

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

幼児期の育ちや学びを
学校教育につなぎ
さらに伸ばす

主体的・対話的で**深い学び**
を通して見られる子どもの姿

子どもの頭の中がアクティブに働いていますか

- 学ぶことに興味・関心をもつ
- 見通しをもつ
- 粘り強く取り組む
- 自己調整を発揮する
(振り返り、次にいかす)

- 多様な手段で説明する
- 考えを比較・関連付ける
- 様々な視点で議論する
- 協働して課題解決する
- 思考を広げ深める

「主体的な学び」
の視点

「対話的な学び」
の視点

一人一人が力を発揮できる安心・安全な環境

○質の高い授業づくり
・5つの提言とチェックポイント



「京都丹波の推進プラン」や
「質の高い授業づくり」の説明を
南丹教育局 HPに掲載しています

【組織づくり】
子どもの学びを
組織で推進

- 子どもの学びをつなぐ
 - ・校種間をつなぐ
 - ・年齢、学年間をつなぐ
 - ・担当、教科、分掌をつなぐ
 - ・教師同士がつながる
 - ・学びの系統をつなぐ
 - ・学習規律をつなぐ
- 子どもを見取る
 - ・子どもの学びの状況を見取る
 - ・「見取る力」は授業（保育）研究でつける

- 主体性を引き出す環境構成
 - ・物理的な環境
 - ・教師の関わり
- 教師も主体的に探究心を
もって学び続ける
 - ・教材研究
 - ・OJT OJL
 - ・研修での学びを広め共有する

【授業づくり】
心が動く授業の展開

- 主体的・対話的で深い学びを実現する単元デザイン
 - ・児童生徒が「自ら学びとる」授業への転換
 - ・単元で付けるべき資質・能力の育成
 - ・単元ゴールの明確化
 - ・教科の「見方・考え方」を意識して指導
 - ・指導と評価の一体化
 - ・言語能力の育成
 - ・自己調整を発揮しながら探究的な学びを充実
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
 - ・ICTの効果的な活用への転換

【深い学びの実現】

- 質の高い「深い学び」
 - ・「知っている」から「分かる」「使える」へ
 - ・知識の概念理解や意味理解を促す
 - ・習得したものを他の学習や生活場面にいかす授業展開
 - ・既習事項を活用して、未習事項を解決する活動など